

# すべての職員・教職員の怒りの声を結集しよう！

大阪府当局は、「給与制度の改革及び給料の特例減額の実施について」を提案しました。

これによって、2006年の「給与構造改革」に引き続き、職種・職階によっては、7万円近くもの給与水準の引き下げが行われます。「1つの職階に1つの級」という考え方は、一部のエリート職員をのぞいて、圧倒的な職員を低い給料水準に留め置くものです。また、若年層にとっては、生涯賃金で大きなマイナスとなります。

さらに、これまで「時限的措置」として強行した3年間の給料カット、6年間の一時金カットを引き続き継続するとしています。

こうした提案は、府職員・教職員の生活保障を投げ捨て、使用者責任を放棄するものであり、もはやガマンの限界を超えています。また、「全体の奉仕者」として職務遂行・専念すべき職員・教職員を知事の意のままに仕事をする職員・教職員へと作り変えるものであり、絶対に許せません。

以上のことから、下記について強く要請します。

## 記

- I. 2006年の「給与構造改革」に引き続き、さらに給料水準を低下させる「給与制度の改革」は撤回すること。
- II. 3年間の給料カット、6年間の一時金カットの継続を中止すること。
- III. 府民施策切り捨て、人件費削減のための「府財政構造改革プラン(案案)」を撤回すること。

氏名	氏名

職場名【大阪府立

高等学校】

さらなる給料水準引下げ  
給与・一時金カットの継続  
撤回を求める署名

取扱い団体【府高教】